

# 国語科学習指導案

指導者 柴田良輔

- 1 日時 平成27年7月3日(金) 2校時
- 2 学級 2年2組 男子19名 女子17名 合計36名 南校舎4階2年2組教室
- 3 主題 単元名 防災ガイドブックで盛岡を救う  
中心学習材 「やさしい日本語」佐藤 和之(光村図書「国語2」)  
補助学習材 盛岡市防災マップ(盛岡市総務部消防防災課)

## 4 主題について

本学習材は説明的文章である。筆者は本文の中で、阪神・淡路大震災の際に外国人が日本語の情報把握をうまくできなかったことを問題視し、緊急性の高い情報を外国人に伝えるにはどうすればよいのかという課題を示している。そこで、「やさしい日本語」を紹介し、その根底には「災害時」や「外国人」に限ったものではなく、伝えなければならない情報は何か、誰に対しての情報か考える必要があると筆者は述べている。そこで、【C 読むこと】エ「文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつこと」、【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】オ「相手や目的に応じて、文章の形態に違いがあることを理解すること」を指導事項として、盛岡防災ガイドブックをつくるという言語活動を行う。

事前アンケートの結果によると、「聞いているのにわからなかったことがある」、「伝えているのに伝わらなかった経験がある」という問いに対し、約8割の生徒が「はい」と答えている。

そこで本単元では、生徒には本文の読解並びに学習材中のポスターの例を見ることで「伝わるように伝える」ということを実感させたい。そのために、盛岡市の防災マップを参考に、「防災ガイドブックをつくる」という言語活動を設定する。個人でどのような内容にすれば外国人に伝わるか考えさせ、その上で3～4人で構成される国語班でまとめる。ガイドブックは1班毎に1ページを担当し、9ページで1冊とする。この活動を通して、情報が相手に伝わるために何をどのように伝えるか、自分で判断する力をつけたい。

## 5 指導と評価の計画 (別紙)

## 6 本時の達成目標

国語への関心・意欲・態度	「やさしい日本語」の使用について、実際の災害時を想定して考えようとしている。
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	外国人に災害時の避難を伝えるという目的・相手意識をもって、防災ガイドブックにはどのような内容を載せるべきか考えをまとめている。  〈生徒の記述例〉 私は始めに「机の下に入って、頭を守ってください」と書きましたが、「机の下に入ります。頭を守ります」と書き直しました。 根拠は〇〇さんの指摘から、短い2文にできるからです。 始めの書き方と比べると直した方は、机に入ることと、頭を守ることの2つの重要な動作を簡潔に伝えられます。このことは普段作文するときのも同じことが言えると考えます。
言語についての知識・理解・技能	伝わるためには目的や相手に応じて内容を変えることを理解している。

## 7 本時の指導構想

### (1) 本時のねらい

本時は、評価規準の「読む能力」の「外国人に災害時の避難を伝えるという目的・相手意識をもって、防災ガイドブックにはどのような内容を書けるべきか考えをまとめている」を主にねらったものである。

### (2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

#### 【考えがいのある課題設定】

学習課題を「どのように書けば外国人に伝わるガイドブックになるか」と設定する（2. 課題を把握する）。課題解決の基となるのは前時で行う中心学習材の読解である（1. 前時の既習事項を確認する）。

#### 【「論理の思考型」を用いた言語活動】

特に論理の思考型の仮定思考「もし、～が～ならば～」、類別思考「～と～を比較すると～」を用いて考えさせたい。

これは前時において、学習シートを用いて、わかりやすく伝えるための話型として生徒に提示している。本時では、学習課題に即して自己決定するときに用いる（5. 個人で意見を書く）。

#### 【かかわり合い】

2度のかかわり合いを設定する。

始めに、1度目の自己決定後に国語班で行う。ねらいは「意見の練り合い」である。やさしい日本語を用いて防災ガイドブックに載せる内容を相互に読み合うことで生徒個々の意見を練り合いたい。特に、単元を貫く言語活動である防災ガイドブックに載せる内容であるため、自分との差異を意識させたい（4. 国語班で練り直す）。

次に、2度目の自己決定後に全体で行う。ねらいは「考えを広げること」である。生徒の挙手発言並びに意図的指名でまとめとなるような生徒を指名し、全体でも学習課題に迫りたい（6. 全体で交流する）。

#### 【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う（7. 自己評価活動を行う）。

今日の学習で学んだこと、わかったこと・わからなかったこと、これからの学習で生かせそうなこと、これからの生活で生かせそうなことなどを観点に書かせたい。特に次時以降の国語班での防災ガイドブック作成については単元の導入時に目的意識として強調しているため、生徒には外国人に伝わるようにという立場で記述できるようにしてほしい。

## 8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法	教材・教具等
導入 10分	1. 前時の既習事項を確認する。	・筆者の主張を想起させる。		・学習シート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を伝える側は、誰に対しての情報なのか、伝えねばならない情報は何かをより強く自覚していなければならない。</li> </ul>	・「やさしい日本語」を伝えるための工夫を想起させる。		
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」言い換え 五つのルール（14段落）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 重要度が高い情報に絞る。</li> <li>2. 難解な語句は言い換える。</li> <li>3. 災害時によく使われる重要な語句には解説を添える。</li> <li>4. あいまいな表現は避ける。</li> <li>5. 複雑な文や長い文は、文の構造を簡単にする。</li> </ol> </li> <li>・「やさしい日本語」に言い換えた情報の伝え方 七つの工夫（18段落）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 見出しだけではできるだけ複数の言語で表す。</li> <li>2. 内容は、一枚の掲示物につき一つの情報を載せる。</li> <li>3. 表記には漢字も用いる。</li> <li>4. 漢字の読み方は振り仮名で知らせるようにする。</li> <li>5. ローマ字は使わない。</li> <li>6. 言葉の区切りごとに一字分空けて意味のまとまりをわかりやすくする。</li> <li>7. 内容に関連する絵や地図を付けて情報を補う。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に地震を想定して外国人にガイドブックを書く内容を書かせる。</li> <li>・意見発表後、より伝わるように書き直す。</li> <li>・指摘を受けて書き直した文章がどのように伝わりやすくなったかを書く。</li> <li>・生徒の挙手発言並びに意図的指名でまとめとなるような生徒を指名する。</li> </ul>	<p><b>5【読む能力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に地震時の避難を伝えるという目的・相手意識をもって、防災ガイドブックにはどのような内容載せるべきか考えをまとめている。</li> </ul> <p>〈学習シートの記述〉            A: 本文14, 18段落から2種類以上を根拠に書いている。            C: 地震の際に気を付けることを想像させ、それをやさしい日本語で言い換えるとうなるかを口頭で確認して書かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シート</li> <li>・地震ページ</li> </ul>
	2. 学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように書けば外国人に伝わるガイドブックになるか。</li> </ul>		
終末 10分	7. 自己評価活動を行う。	・本時の学習について自己評価を行う。		・自己評価シート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に伝えるための工夫を考えたが、様々な人がいるためどこを基準にすればよいか迷った。言い換えれば、どのような人でもわかるように書く必要があるということだと思ふ。</li> <li>・初めは外国人だから英語で伝えればいいと思ったが、どの外国人にも伝わるということ考えると、日本語が適しているということに納得した。思い込みをせず、どのようにすれば相手に伝わるか考えて、ガイドブックを書きたい。</li> </ul>			
	8. 次時の予告をする。			

2 年 国 語		単元名 防災ガイドブックで盛岡を救う 中心学習材 「やさしい日本語」佐藤和之（光村図書「国語2」）		総時間 5時間扱い
学習指導要領の指導事項			単元の目標	
【C 読むこと】エ 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】オ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつこと。 相手や目的に応じて、文章の形態に違いがあることを理解すること。			○人に情報を伝えるためにどのような工夫が必要か、相手意識をもって考えることができる。 ○筆者の主張を踏まえ盛岡に住む外国人に向けた防災ハンドブックを書くことができる。	
国語への関心・意欲・態度		書く能力		読む能力
「やさしい日本語」の特徴を理解し、目的・相手意識に応じて伝えようとしている。		目的・相手意識をもって、日本語をやさしく書いている。		目的・相手意識を意識して伝えるとはどういうことか読み取り、自分の考えをまとめている。
言語についての知識・理解・技能		伝わるためには、目的や相手に応じて内容を変えることを理解している。		
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	評価事例
1	○単元の目標・流れを確認。 ○本文を音読。 ○感想を書く。	関 「やさしい日本語」の存在について、自分なりに感想を書いている。	・感想の中に目的・相手意識について触れている。	<b>3 防災ガイドブックに載せる工夫を書く場面（読 学習シート）</b> 中心学習材の叙述から「やさしい日本語」を伝えるための工夫を読み取り、実際に地震を想定してどのようにすれば伝わるかについて、学習シートに書いているかどうかを評価対象とする。  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>■おおむね満足 (B)</b></p> <p>私は始めに「机の下に入って、頭を守ってください」と書きましたが、「机の下に入ります。頭を守ります」と書き直しました。 根拠は短い2文にできるからです。○○さんの指摘を参考にしました。 始めの書き方と比べると直した方は、机に入ることで、頭を守ることの2つの重要な動作を簡潔に伝えられます。このことは普段作文するときの同じことが言えると考えます。</p> <p>中心学習材の内容のいずれかから1つの事柄を根拠に理由付けすることで、やさしい日本語で伝える際の工夫を書いている。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>■十分満足 (A)</b></p> <p>私は始めに「机の下に入って、頭を守ってください」と書きましたが、「机の下に入ります。頭を守ります」と書き直しました。 根拠は2つあります。1つ目は漢字と振り仮名の両方を使うこととどちらかがわかれば伝わること、2つ目は短い2文にできるからです。○○さんの指摘を参考にしました。 日本語の文章は漢字、平仮名、片仮名で構成されています。もし上記のことに配慮しなければ、日本語に慣れている人でも理解しにくくなる可能性があると考えます。</p> <p>おおむね満足 (B) に加え、中心学習材の叙述の中から2種類以上を根拠にやさしい日本語で伝える際の工夫を書いている。</p> </div> </div> <p><b>【C：指導の手立て】</b> 地震時に気を付けることを挙げさせた上で、中心学習材の内容から1種類例を出し、口頭で確認して書かせる。</p>
2	○既習事項の確認。 ○筆者の意見を書く。 ○全体で文章構成を確認。 ○全体で筆者の意見を確認。	言 目的や相手に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解している。	・目的や相手に応じて伝えることが「伝わる」ことにつながることを理解している。	
3 (本時)	○既習事項の確認。 ○実際の地震時を想定して、やさしい日本語で情報を書く。 ・個人で意見を書く。 ・国語班で練り直す。 ・意見を書き直す。 ・全体で交流する。	関 「やさしい日本語」の使用について、実際の災害時を想定して考えようとしている。  読 実際の地震時を想定して、中心学習材の内容の一つを根拠に理由づけし、やさしい日本語で伝える際の工夫を書いている。	・「やさしい日本語」の使用について実際の災害時を想定し、外国人に伝わるように考えている。  ・おおむね満足 (B) に加え、中心学習材の内容の一つを根拠に理由づけし、やさしい日本語で伝える際の工夫を書いている。	
4	○ガイドブックのどのページを担当するか分担する。 ○国語班で1ページを書く。	書 目的・相手意識をもち、実際の災害を想定して、ガイドブックを書いている。	・ガイドブックに必要な情報かどうか吟味、取捨選択し書いている。	
5	○お互いのページを読む。 ○他班のページを評価する。 ○評価を基に書き直す。	言 他の班のガイドブックを読み比べ、外国人に伝わるかどうか評価している。	・同じ災害で書くなら、自分はどう工夫・改善するか考えをまとめている。	